

トマト

の育て方



● 作り方のポイント

- ① トマトの含む**リコピン**は若々しい身体を維持できると言われています。
- ② ナス科植物（トマト・ナス・ピーマン・ジャガイモなど）は連作を嫌うので、4～5年ナス科植物を栽培していない場所を選びます。
- ③ 日当たりの良い場所を好みます。
- ④ 比較的病害虫が発生しやすい植物です。梅雨時から夏にかけて疫病やガび病に注意しましょう。
- ⑤ 挿木苗が比較的育てやすいでしょう。

● 栽培カレンダー

月	● 種まき期 ● 植えつけ期 ● 収穫期											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
暖地・中間地			■	■	■	■	■	■	■			
高冷地・東北			■	■	■	■	■	■	■			
北海道			■	■	■	■	■	■	■			

1 植え付け準備

植え付けの1～2週間前に、畝(うね)をつくる。畝幅を広く取って1m畝に1列に植えるか1.8m畝に2列に植える。

1mあたり堆肥2kg、苦土石灰200gを混ぜ込む。トマトの根は深く張るので、深く耕す。

元肥
1株当たり60gを土に混ぜ込む。

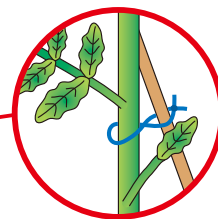
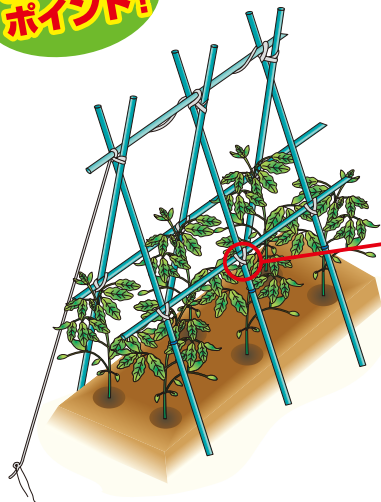
苗を植え穴において周りの土を寄せるように植え、仮支柱を立てて苗が倒れないように軽く縛る。

8の字になるように誘引する

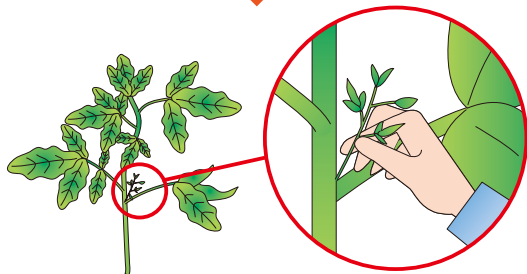
2 支柱たて、わき芽つみ

ここがポイント!

本葉9枚、草丈40cmくらいになると本支柱を立てる。



8の字形になるように誘引する



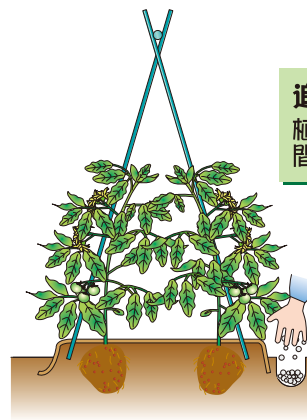
葉のつけ根から出るわき芽は全部摘み取って主枝1本を伸ばす。

葉のつけ根ごとにわき芽が出るため、小さいうちに手で摘み取る。

3 追肥、主枝の摘心

8月中旬に収穫を終わらせるには、7月上～中旬に主枝を摘心する。摘心は、最後の収穫予定の花房の上の2～3枚の葉を残してその先を摘み取る。収穫は、開花してから40～50日くらいから熟度に応じて行う。収穫の最盛期は株の負担が大きいので、水切れに注意する。

追肥
植え付け後約30日間隔で40g与える



主枝(まん中の枝)
第一果房